

「第2回 ボディサイコセラピー入門講座」in 名古屋

～ ボディサイコセラピー（身体心理療法）の視点からの心身相関アプローチ ～

主催：リズムセラピー研究所

協力：株式会社ユナイト／EPONA

ボディサイコセラピーは、「からだ」を導入した心理療法です。日本では、まだ一般には知られていませんが、現在、ライヒから始まったボディサイコセラピーは、精神分析の対象関係学派や発達心理学、大脳生理学、手技療法などを取り入れて進化し、ヨーロッパ、アメリカ、南米などで広まり、社会的に認められています。イタリアでは、臨床で心理療法を行うための国家資格を取得するには、ボディサイコセラピーのトレーニング受講が義務づけられているほどです。

7月に名古屋で初めて入門講座を行いました。好評につき、第2弾を企画いたしました。今回の入門講座では、「信頼関係の形成」「からだを通して気づくことの大切さ」「からだからのサインにはどのような種類があるか」「からだの部位ごとの心理的な意味」「自己理解を深めるための性格類型論」というテーマに沿って進行していく予定です。ただし、これらのテーマは一つ一つが深いものですから、今回は包括的、かつ基本的なことをお伝えします。実際にボディサイコセラピーを理解するには、身体を通して体験して頂く必要がありますから、理論的説明だけではなく、身体での体験を通して心身の相関性を実感して頂きます。前回、ご参加頂いた方のみならず、初めての方にも理解できるように丁寧にお伝えします。からだところとの相関関係に興味のある方は、この機会をご利用ください。なお、15日には個人セッションも行います。

リズムセラピー研究所／BIPS ディレクター 贅川治樹

日 程：2014年12月13日（土）13時開始（12:30開場）～19時終了
12月14日（日）10時開始（9:30開場）～17時30分終了
※進行状況により、終了時間が遅れる場合があります。
会 場：名古屋市中区丸の内（会場の詳細は申し込まれた方にお知らせします）
対 象：心身の相関関係に興味のある方、対人支援職の方
定 員：24名（最低開催人数：8名）
料 金：27,000円（税込み）（2日間のコースですが13日のみ参加の場合、16,200円となります。14日のみ参加はできません。）
申込期日：2014年12月10日（ご入金をもちまして正式申込み完了とさせていただきます。この時点で最低開催人数に達しない場合は、開催を延期させていただきます。）
服 装：身体を動かしますので、動きやすい服装でお越しください。
※会場には着替えスペースがありますので、会場では着替えることもできます。

◎問い合わせ先：リズムセラピー研究所 MAIL：office@rhythmtherapy.jp

◎お申込み方法：下記の内容をお書きの上、リズムセラピー研究所までお申込みください。
「お名前・ふりがな」「メールアドレス」「携帯電話番号」
「講座名・参加日」「何処でお知りになったか」

◎参考サイト：<http://www.rhythmtherapy.jp/bodypsychotherapy.html>
<http://www.unite22.co.jp/>（UNITE）
<http://www.epona-eiko.com/>（EPONA）

◎個人セッション：2時間枠 21,600円（税込み）
会場、時間など詳細は上記アドレスまでご連絡ください。

講師略歴 贅川治樹（にえかわはるき）

リズムセラピー研究所所長、BIPS ディレクター & 国内トレーナー、EABP（European Association for Body Psychotherapy）認定トレーナー、バイオシンセシス認定ボディサイコセラピスト、シン・インテグレーション上級施術者、セロトニン道場師範、場の研究所研究員、ヤマハ株式会社音楽と健康プロジェクト・元アドバイザー、越後奥寂庵庵主。

1992年マーク・カフェル博士に師事し、1年間南アルプス山間集落でボディワークの研鑽を積み、1993年から現在まで、延べ2万人以上の方に深部組織ボディワークを行う。1993年より5年間のバイオシンセシストレーニングに参加し、1998年に資格を得る。その後、ボディサイコセラピーの個人セッションを行うとともに、ワークショップを主催する。2006年よりBIPS国内トレーナーとして、セラピスト養成を行い、同時期にボディサイコセラピーに音楽を取り入れたリズムセラピー研究所を設立。九州大学、セロトニン道場、引きこもり親の会、韓国政府青少年委員会主催国際シンポジウム、不登校のサポート校、日本産業カウンセラー協会東京支部、リーダーシップ世界大会、コーチングフェスタ、重度身心障がい者授産施設、自治体の介護予防教室、乳幼児突然死候群国際会議、ヤマハ音楽振興会などで講演と演習を提供している。2013年には日本の霊性を深めるために、場の研究所の研究員となる。2014年1月から2月にかけてインドのKaivalyadhama Yoga InstituteにてShri. O.P. Tiwari 師に師事し、プラーナヤマを学ぶ。

